

令和6年度 第22回青森県障がい者技能競技大会 ＜ビルクリーニング競技課題B＞

◎一般的な注意事項

1. 課題は、弾性床清掃及び机上清掃です。
2. 競技時間は、規定時間が定められており、10分で打ち切りとなります。
3. 課題は、残り3分でアナウンスをします。規定時間を超えたところで打ち切りとします。
打ち切りとなった競技者は、競技委員の指示に従ってください。
4. 競技の開始、競技中、終了については、以下のとおりとします。
 - ①作業開始の指示は競技委員が行います。競技者は、挙手または「はじめます」と申告してスタートしてください。
 - ②競技が終了したら挙手または「終わりました」と申告してください。
 - ③作業ごとの入退出を行う際には、会釈(軽く挨拶や礼)をしてください。
 - ④競技中は上記以外の声を出さないでください。※ 始めと終わりの申告は、声を出すことが困難な場合は、挙手のみで構いません。
5. 課題において椅子を机の上にあげる際は、安全に配慮した形で上にあげてください。
6. 使用する資機材は、支給されたもの以外は使用できません。
7. 競技採点は、作業準備・作業動作(手順)・仕様誤り・作業態度・作業時間の5面から審査し、加点方式によって行われます。
8. 競技に適した服装をしてください。

◎課題:弾性床清掃及び机上清掃

1. 作業面積は16㎡(4m×4m)とし、幅木により区画し、幅木の上には壁があるものとして作業を行ってください。
2. 床材質はフローリング床面とします。
3. 作業は、床面の除塵・拭き・ごみ処理及び机上拭き作業です。
4. 競技に使用する資機材・消耗品は、作業用カートに載せてありますので、不足が無い点検してから使用してください。
5. モップの柄は、長さが調節できるので、作業前に競技者自身で作業しやすい長さに調節してください。
6. 乾式モップ用クロスは、競技者が作業前に取り付けて点検してください。
7. 床のゴミは「おがくず」とし50mℓ程度をまいたものとします。
8. 作業場所にある机は移動させないでください。
9. 使用した資機材は、指定された場所へ片付けてください。

※床上の「おがくず」が、2, 3回はいても取れないような場合は、次に進んでもよいこととします。

◎ 資機材一覧表

1. 各競技場に準備されているもの

品名	寸法又は規格	数量
作業用カート	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1台
作業標示板		1個
ワンタッチモップ柄	ワンタッチアルミ伸縮柄	1本
ラーグ(モップ房)	260g白色	1枚
小型ぼうき	30cm幅用	1本
乾式モップヘッド	63cm	1枚
文化ちり取り	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1個
タオル	無地 水拭き用(青色)1枚 無地 から拭き用(白色)1枚	2枚
ダスタークロス	69cm幅の不織布	1枚
ビニール袋	ゴミ箱用替袋	1枚
机	ビルクリーニング技能検定資機材に準拠	1台
イス	パイプ式折りたたみ	1脚
ゴミ箱	角型	1個

2. 競技者が持参するもの

品名	寸法又は規格	数量
作業しやすい服装		1着
作業帽又は三角巾		1個
作業靴		1足

(注意)持参するものは、上記のものに限るが、同一種類のものを予備として持参することは差し支えない。

課題 弾性床清掃及び机上清掃(作業時間:10分)

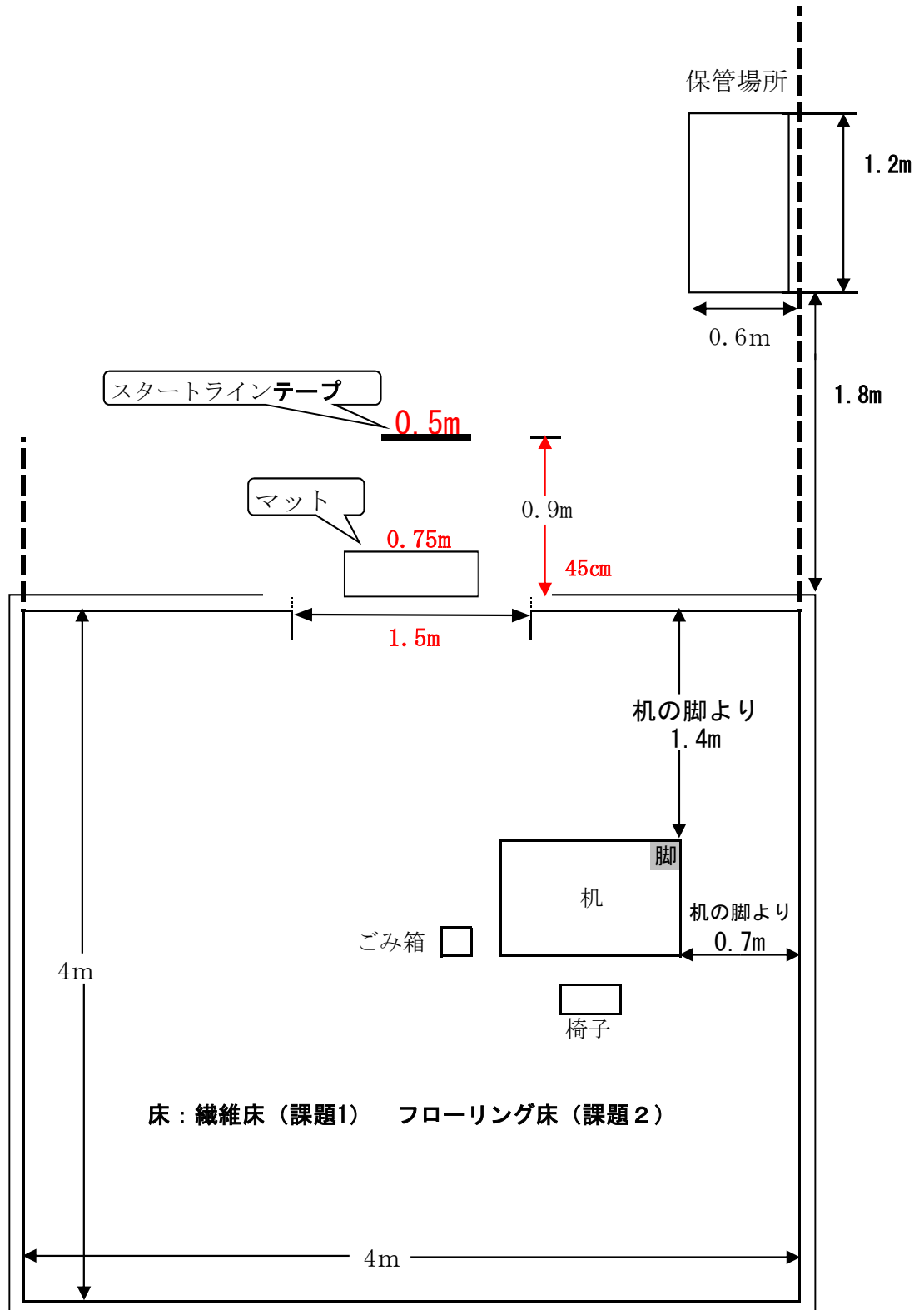
作業仕様(課題1-1)

作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材の準備	作業に必要な資機材はすでに会場に準備されている。 ①モップ柄の長さを調整し、カートの所定の場所にセットする。 ②ダスタークロスを乾式モップヘッドに装着する。 ③①、②は事前に準備する。	・必要な資機材及び数量は資機材一覧表を参照のこと。 ・資機材が過不足無く準備されているか点検し、異常があれば申し出る。 ・柄は所定の位置に立て、乾式モップヘッドはカート上部の所定の位置に置く。	資機材の点検終了後、係員の指示に従い、所定の位置に立つ。
競技開始の挨拶	所定の位置に立ち、競技委員の始めの合図で「始めます」と挨拶を行い、競技を開始する。	片手をあげ、一礼をする。	「始めます」と作業開始を申告する。
作業準備	①作業カートを保管場所から作業場所の近くへ移動する。 ②作業標示板を立てる。	所定の位置に作業表示板を立てる。	
入室の挨拶	入口にて、室内に向かって入室の挨拶を行う。	「失礼します」等と一礼して入室する。	
イス上げとゴミ処理 (1)イスを上げる (2)ゴミ回収 (3)ゴミ袋のセット	①作業前にイスを机の上にあげる。 ②ゴミ箱にセットされているゴミ袋を回収する。 ③ゴミ袋を出口においてあるカートゴミ袋に入れる。 ④ゴミ袋のスペア袋をゴミ箱にセットする。 ⑤ゴミ箱を机の上に上げる。	・机は動かさない。 ・イスは机の四隅からはみ出さないように正しくのせる。 ・ビニール袋を正しくセットする。 ・ゴミ箱は机からはみ出さないように正しくのせる。	
除塵作業 (掃き作業)	①乾式モップヘッドを柄に装着し、外から入り口を除塵し、作業場所へ入る。 ②室内での作業手順は乾式モップ作業手順のとおり行う。 ③ゴミは前進しながら出口に向かって1箇所に集める。 ④ヘッドを柄から外す。 ⑤使用済みのダスタークロスヘッドをヘッドから外し、カートの袋の中に収納する。 ⑥柄とヘッドをカートに戻す。 ⑦小ぼうきと文化ちり取りを使用し、集めたゴミを回収する。 ⑧ゴミの取り残しがないか点検する。 ⑨小ぼうき、文化ちり取りをカートに戻す。	・柄の先端には親指を添える。 ・ヘッドの辺は広い方を先行させる。 ・ゴミを踏まないように足場を確保する。 ・ヘッドの辺は広い方を先行させる。 ・ヘッドは、床から離さない。 ・使用済みダスタークロスは、カートの袋の中に入れる。 ・ヘッドは上部の所定の位置に置く。 ・ヘッドはスポンジ面を上にして置く。 ・ゴミの取り残しがある場合は小ぼうきと文化ちり取りでゴミを取り除く。	ゴミはおがくずを50mℓ程度均等にまいてある。 点検の際に声を出さないこと。 乾式モップ作業手順参照。

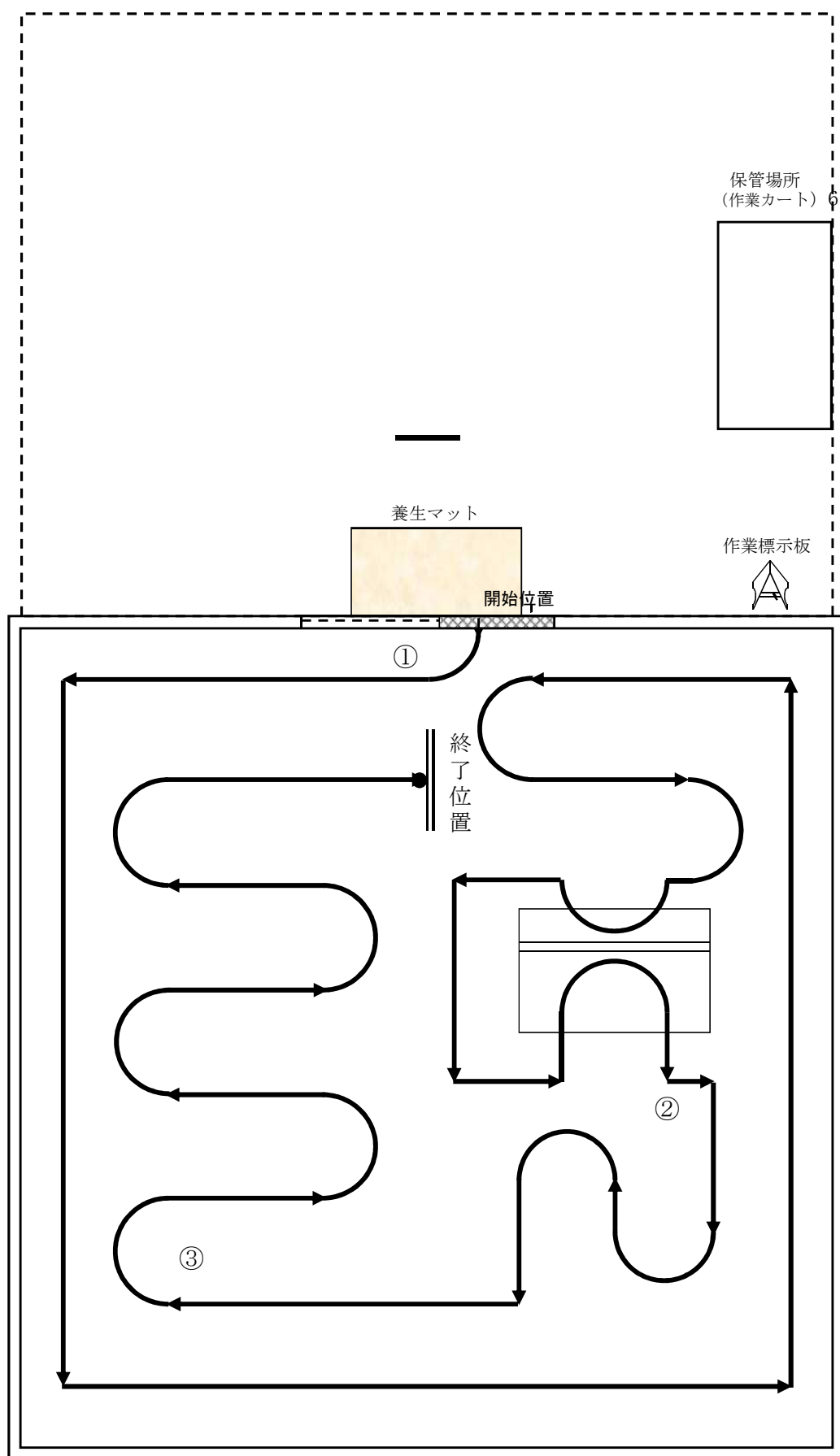
作業仕様(課題1-2)

作業工程	作業方法	補足事項	備考
水拭き(モップ)	①コート全面積を拭く。 ②幅木側、机の下、中央部の順に拭く。 ③コーナー周りとお机の足元は房糸に手を添えて拭く。 ④モップは適宜裏返し、モップ全体を使って拭く。 ⑤モップは横拭きとし、後退しながら拭く。	・拭き残す、拭きむらのないようにする。 ・横拭きは柄の先端に親指を添えるのを基本とする。 ・房糸が幅木、机の脚部に触れないようにする。 ・拭いたところを踏まないようにする。	水拭きモップ作業手順参照。
ゴミ箱とイスを下ろす	安全に音を立てないように下ろす。	足の上に落とさないように注意する。	
机上拭き	①青色のタオルを八折にして持つ。 ②机の上を水拭きした後に白色のタオルでから拭きを行う。	・机の縁を含めて四隅から中央へ行う。 ・タオルが汚れたら、きれいな面を出して拭く。 ・横拭き・縦拭きを行う。 ・拭き残し、拭きむらのないようにする。	机上拭き作業手順参照。
点検	指差しまたは目視点検を行う。	資機材の忘れ、ゴミの取り残しなどの点検を行う。	点検の際に声をださないこと。
退室の挨拶	出口にて、室内に向かって退室の挨拶を行う。	「失礼しました」と一礼して退室する。	
資機材の片付け	作業標示板を作業カートに収納し、作業カートを所定の位置に戻す。		
終了挨拶	所定の位置に立ち終了の挨拶を行う。	「終わりました」「終了しました」等の意思表示を行う。	作業終了を申告する。

標準配置図(モデル)

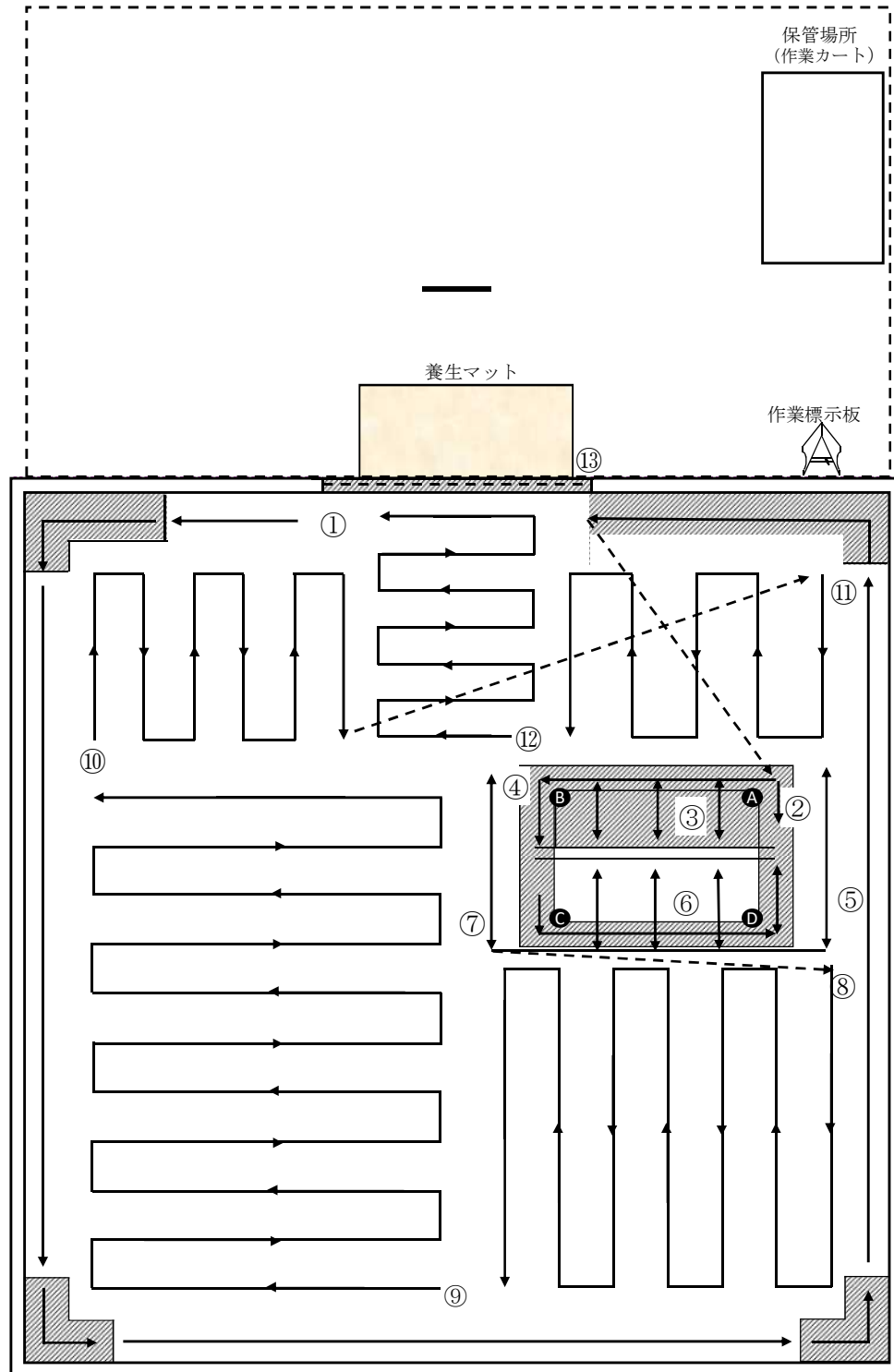


乾式モップ作業手順



注：乾式モップのヘッドを振る回数ではありません

水拭きモップ作業手順

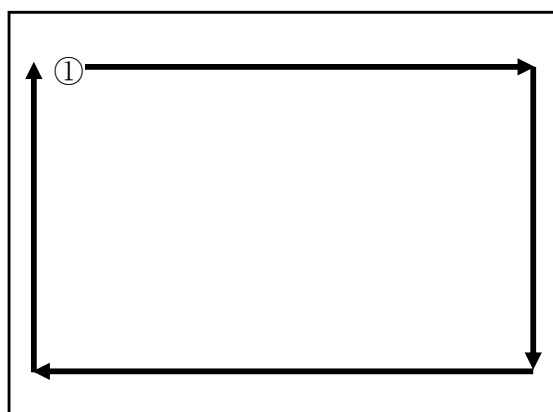


注：  印は手を添える箇所を示す。 水拭き回数を入れたものではありません。

- ① 幅木側を1周すること。（コーナーは手を添えます）
- ② Aの脚周りを手を添えて拭く
- ③ 机の下を手を添えて拭く
- ④ B脚、C脚、D脚の順に脚回りを手を添えて拭く
- ⑤ 机の脇（壁側）を拭く
- ⑥ 机の下を手を添えずに拭く
- ⑦ 机の脇（入口側）を拭く
- ⑧～⑫ 拭きムラがないよう適切な間隔で拭く
- ⑬ 入口は手を添えて拭く

机上拭き作業手順

注：作業手順は右手でタオルを持つ人の例になります。左手で持つ人の場合は、左右を逆とした方法でも構いません。



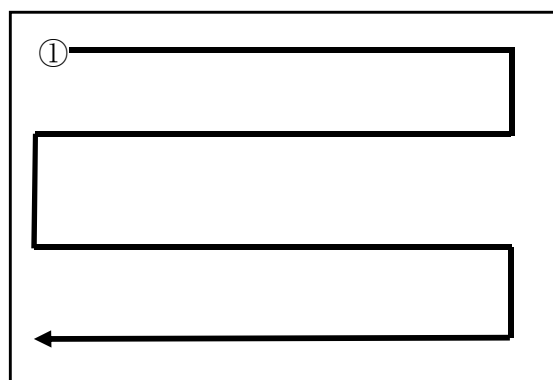
縁(机の4辺)の拭き方

※.選手は審査員に正対し動線図に示された場所に立つ(縦拭き・横拭きも同様)

①四角く、縁にそって拭きます。
(その際、テーブル、机の縁も拭きます。)



作業者の立位置



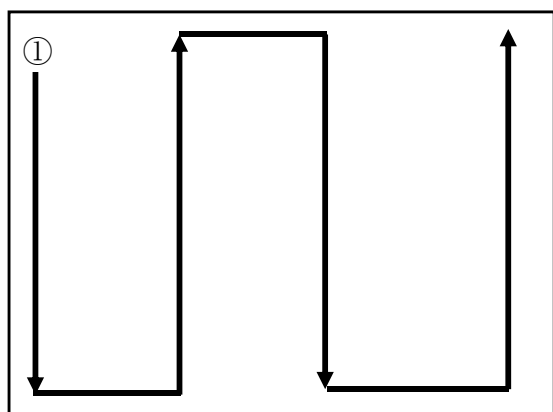
中央の拭き方

②横拭き：拭いていない中面を左右に拭きます。(このとき、拭きムラの無いように注意します。また、左右の動きにより、往復の回数が異なります。)

※.適宜タオルの面を変えながら拭く。



作業者の立位置



③縦拭き：拭き残しがないように中面を上下に拭きます。(このとき、拭きムラの無いように注意します。また、上下の動きにより往復回数は、異なります。)

④から拭きも同じように行います。

※.適宜タオルの面を変えながら拭く。



作業者の立位置